

和の生活マガジン

# 花Saku

4

卯月号

2011 vol.137

桜咲き  
母娘できもの  
事始め



新連載

# 私のきものアルバム 4月

文・写真／林良江

初めまして。「和創美」代表の林良江でございます。

私は「日本文化、きもの、おしやれを愛する人のネットワークづくりに貢献します」をスローガンに、着付けや礼法、マナーの講師やきものイベントの開催など、きものやおしゃれに関わるさまざまな活動をしています。

まずはちよつと私の半生から。

私は、笑顔がとても優しい会社員の父と、

きもの好きの母が営む定食屋の娘として厳しく育てられました。

母からは料理、接客、特に「いらつしやいませ」の

挨拶と笑顔を躰けられました。



母が遺してくれたこの赤茶色の小紋と紅型名古屋帯の組み合わせは、私に一番似合うコーディネートだと思っています。「和創美」を立ち上げてから、初対面の方に会うときも、商談にも幸運を呼んできたきものです。いわゆる「勝負きもの」。母は一度も袖を通すことがなかったで、結局は、私への贈り物だったのかもしれない。

「お前も商売人になるね」が母の口癖で嫌いでした。

母と同じ人生は歩みたくなかったのですが、短大卒業後OL時代に結婚、

アパレルや会計事務所にも就職、子育ての経験を経て、「蛙の子は蛙」、結局、母の言うとおり商売を始めてしまったのです。

外食産業（店舗・委託給食経営四〇店舗）を創業し、年商八億の会社経営者として邁進していましたが、

心身ともに無理が重なっていき、ついには生死をさまよう大病を患いました。しかも三度も。

奇跡的に三度、この世によみがえったとき、「神様が与えてくれた命だから、

決して後悔しない人生を歩きたい。好きな事をした」と決意しました。

つらいときに支えてくれたのは、母が遺してくれたきものでした。

きものを身につけるだけで母の優しい心が見えてきて、がんばろうという気持ちになれたのです。

現在五十二歳で一〇〇歳まで生きるとしたら人生あと約半分。

いつも笑顔でいるために、人の役に立てる人間であるために、

後半生のテーマを「きもの」と決め、十七年間がんばってきた会社を売却し、「和創美」を立ち上げました。

この度は編集部とご縁があり連載という大任をいただきましたので、

私のきものコーディネートやみなさまに役立つ情報を提供させていただきたく精一杯がんばります。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

## 今月のきもの遊び



### 楽しい「卵の花点前」

陽気が暖かくなり、野点が気持ちいい季節です。携帯用として考案された茶箱や茶籠がありますが、私はバスケットやトートバッグに野点の道具を詰め込んで、公園などで気軽にお茶を楽しみます。必要なのは、お湯を入れた携帯ポット、茶杓、抹茶、茶巾、人数分の和菓子、抹茶茶碗、茶筌、黒文字、懐紙です。

林良江 ● はやしよしえ  
法人企業・外食産業系会社創業社長(17年間)を経て、  
マダム路子会長の「国際魅力学会」魅力心理学士として活動。  
着付&礼法&ビジネススクール講師、マナーアドバイザー、  
経営コンサルタント、フードコーディネーター、占い師、  
パーソナリティなどマルチに活躍。  
また「輝く女性作りセミナー・シャイニング(女性講師軍団)」を主宰。  
「和創美」代表。

今月の  
スナップ



出来る事なら一年中、桜柄のきものを着ていたいと思うほど、桜が好きです。友人も私の桜好きを知っていて、贈り物も桜が多く、自然に桜のものが集まってきました。とても嬉しいことです。上の写真は、私の大のお気に入り、夜桜のきものです。写真は切れてしまっているのですが、金色に輝く桜の帯を合わせています。左の紫色のきものは「マジック・タイム・スリー」と言って、洋服の上からも3分で着られる優れものです。

きもの美人の  
輪



一戸都 (いちのへみやこ) さん

子どもの頃から大のきもの好きで、子育てに一段落した四十歳からきもの学院の門をたたき、着物コンサルタントの資格を取得されました。着方教室を運営されているほか、越川禮子先生の主宰する「NPO法人 江戸しぐさ」に所属し、合理的で科学的、美的でしかも人に優しい粋な「江戸しぐさ」の普及に努めていらっしゃいます。  
伝統和文化マナーマイスター協会准教授

きものでお出かけ情報

毎月、きものを着て集う楽しいイベントを用意しています。お気軽にご参加ください。

「椿山荘 目白のお花見2011と食事会」

日: 4月3日(日) 11時30分~14時30分  
所: 椿山荘3階ロビー 11時20分集合  
¥: 4,000円(お花見ビュッフェランチ代)

「前進座創立80周年記念 ~観劇とお食事~」

日: 5月22日(日) 11時開演  
所: 国立劇場ロビー 10時集合  
(舞台裏見学できます)  
¥: 5,000円(観劇料金2等席4,000円、お弁当代1,000円)

問・予約: 和創美・林良江 090-7010-4723  
<http://www.wasoubi.jp/> (和創美 検索)